

< 空の安全・安心を！ 整理解雇四要件を守れ！ >

京都のつばさ

街頭宣伝用ニュース 第1号

2011.7.1

日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議 発行

京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラポール京都 5F 京都総評気付 075-801-2308 FAX812-4149

6/28 京セラ株主総会前で訴え

稲盛和夫会長はJAL 不当首切り撤回を！

6/21 京都の支援共闘もいよいよフライト

6月21日、早朝、京都市伏見区京セラ本社前出勤社員への宣伝行動を皮切りに、「日本航空の不当解雇撤回をめざす JAL 稲盛会長要請一日行動」を京都で行いました。晚には京都の労働界の拠点・京都市中京区・ラポール京都ホールを満席にして、JAL 大量解雇争議を支援する京都支援共闘結成集会ももたれました。JAL 原告団・当該労組が全国から35名入洛し、地方の支援共闘組織としては三都道府県目でした。集会では全労連・大黒作治議長、全労協・金澤壽議長など日本労働界を代表する方々や学者・弁護士が連帯挨拶。代表世話人に派遣法問題の第一人者・龍谷大学法学部・脇田滋教授が就任。7万人の労働者のセンター・京都総評に事務局を置くことに決定。府民の皆さん、京都に観光においでの方の皆さんの支援共闘へのご参加を訴えます。

私たちは昨年大晦日に強行された JAL165 名の不当解雇攻撃に対して原告団も結成され、裁判も二原告団とも三～四回ずつ進行してきましたが、この解雇を強行した首謀者である JAL 稲盛和夫会長（京セラ創業者＝名誉会長）に、拒否し続けている原告との直接交渉等を求めています。

株主も注目 京都支援共闘の初仕事

山口団長らもビラと「不当解雇撤回」うちわ配布

6月28日（火）午前9時から京都市伏見区の京セラ本社前で、京セラ株主総会に向けた宣伝行動を実施しました。株主は京セラ創業者のしでかした問題にたいへん注目され、2月8日の「（大幅黒字の利益達成で）解雇の必要はなかった」という JAL 稲盛会長記者会見発言のビラにきいって見られていました。バスや車でお越しの株主さんも、小森さん・齋藤さんなどキャビンアテンダントの原告団のもつ CCU のカラフルなノボリや、「稲盛会長は原告団との直接交渉に応じよ！」という横断幕にたいへん注目されていました。大阪支援共闘からもご参加いただき、大成功した初仕事でした。丸厚紙くりぬきのうちわは好評でした。

